

# 全日本語りネットワーク

2008. 7. 15 発行

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 5-19  
桐生市市民活動推進センター 内  
(Fax) 0277-47-4067 (振替) 00130-2-114808  
(E-mail) Japankatarinet@aol.com  
(HP) <http://members.aol.com/Japankatarinet/>

## ニュース

## 会計から見た全日本語りネットワークのこれから

埼玉県 (会計担当) 植田たい子

全日本語りネットワークの 2008 年度総会が無事に終わりました。今年は例年の案件に加えて、NPO 法人化についての討議がありました。2006 年度総会で、運営委員長から法人化を目指していきたいという考えが示されてから 2 年、ニュース No. 26 (08.4.15 号) でも内容を説明し、皆さんの総会参加を呼びかけました。こうして、今年度総会に運営委員長から NPO 法人化の議案が提出され、総会の承認を得て正式に NPO 法人化を目指すこととなりました。社会的な信用、公的施設が利用しやすくなる、補助金が受けやすくなるなど社会的に認知された団体となるために、法人化取得に向けて実務的な取り組みが正式に動き出します。財政基盤も再検討することになるでしょう。「全日本語りの祭り実行委員会」から「全日本語りネットワーク」へと名称が変更されたのは、2002 年度のこと。今また NPO 法人資格取得に向け、歩みを進めようとしています。

2 年に 1 度の「全日本語りの祭り」「小祭り」会員相互の語りの学び舎「楽習会」などどれもこれも予算が伴う事業です。ネットワークの収入源の 3 本柱は、皆さんからの会費が先ずあって、楽習会などのチケット売り上げ、そして祭りなどで寄せられるカンパです。カンパは語りの祭りの年に増える傾向にあり、運営にお役に立てばと思ったださるお気持ちが伝わります。これまでの 18 年間にわたる活動を通して、会員・賛助会員が 250 名ほどになりました。これからの一層の安定した運営ができる財政力も求められています。そのためには毎年 2 割強を占める会費未納者を減らす対策を講じる、「全日本語りネットワーク」の趣旨に賛同する会員を増やす、同時に魅力ある自主企画を進めていく、継続会員を一人でも多く育てていくなどが会費による財政安定を高めていく手段ではないかと考えています。安定した運営が図られるように、机とパソコンが置いて運営委員会 (現状は会場不定で借用料がいる) が開ける事務所が持てるようになれば！ (それを高い家賃が阻みます)。会計 3 年目の担当の思いです。1 ヶ月の部屋代を考慮して何人の会員がいれば実現可能でしょうか。お知恵をお貸し下さい。